



# みなみふらの ボランティアつうしん 7月号(2016年6月28日発行)

## くるみ園昼食会を行ないました!



6月15日にくるみ園昼食会を行ないました!

この日のメニューは、たけのご飯、ふきと豚肉のオイスター炒め、えのきとニラの味噌汁、アスパラとトマトのサラダ、メロンの漬け物でした!

ふきはボランティアさんが朝早くに自ら収穫し、下処理もしてくださったので、シャキシャキしていて、とてもおいしかったです!

手間暇をかけられてつくられたメニュー達は、くるみ園の皆様にも満足してもらえました!

7月から、くるみ園ボランティアとして新たな活動が始まります。レクリエーションを通して、くるみ園に入居している方々と交流を図ります。

昼食会と交互に行なっていく予定です。

初回は7月15日で、羊毛を使って作



## 中学校で福祉の授業をさせて頂きました!

6月10日に南富良野中学校の、福祉に関する授業で、ボランティア活動の説明もさせて頂きました。

その中で出た質問「集められた古切手は何に使われますか?」という質問が出ましたので、ここで回答したいと思います!



集められた古切手は現在、郵便局や国際協力NGOジョイセフ、公益社団法人日本動物福祉団協会など、いくつかの団体が回収し、世界の様々な国へ寄付されています。今回は参考までに、JOCSという団体の活動をご紹介します。

JOCSでは使用済み切手や書き損じハガキ、海外コインなどを、アフリカの医療向上のために役立てています。

具体的にご説明しますと...

使用済み切手が約5000枚で1年分の看護学校の教科書代(タンザニア)、18000枚で半年分の助産師学校の実習費(ウガンダ)、76000枚で理学療法の技術を学ぶ研修費(バングラディッシュ)になります。

この団体では、個人の切手収集家に古切手の換金を依頼しているため、上記のような活動が可能となっているわけであり。

活動する団体によって寄付の仕方はさまざまですが、切手は記念切手や消印が古ければ古いほど価値があるそうです。収集の際には、消印に注目しつつ、切手の周りを1cm程残して保管して頂けるとありがたいです。

ちょっとずつではありますが、古切手が集まっています。社協で回収していますので、集まりましたらぜひお持ちください。

社協で保管致します  
よろしくお願ひします



## ボランティアの茶話会を行ないました!

5月19日にボランティア茶話会を行ないました。テイの職員や大乘会の職員さんもお招きし、日頃のボランティア活動に対してのご意見や感想を頂きました。

介護医療係の小田さんより、ボランティアポイントのお話をして頂き、ポイントについて再確認したり、大乘会さんからは日頃の活動で不備があって申し訳ないというお話も頂きました。

ボランティアさんには常日頃たくさんのボランティア活動にご協力して頂き、大乘会さん、社協共々大変感謝しております。まだまだ至らない点が多々あるかと思いますが、これからもボランティアさんのご協力を頂きながら、ボランティア事業を行なっていきたく思っていますので、これからもよろしくお願い致します。